

令和8年度

# 第1回組織・教育委員会だより

北海道PTA連合会

令和8年6月27日（土）に第1回組織・教育委員会が開催されました。その内容をお知らせいたします。

**組織・教育委員会では、令和8年度、次のような内容で研究を進めていきます。**

## 研究テーマ

「ともに学び高め合うPTA活動や組織はどうあればよいか」

～心豊かな共育をめざす組織と活動の推進～

## 研究テーマ設定の理由

現在、PTAの必要論やPTAが任意団体によることによる加入の有無、PTA活動に消極的な傾向や負担感をもつ保護者など、PTAに対する後ろ向きな姿勢が見受けられる。単位PTAや地区PTA連合会では、新たな目的や意義を見だし、PTAという組織を改めて見直して、自分たちのできることから活動をはじめたり、会員が意欲をもって参加できるような活動を創りだしたりしているPTAもみられるようになった。

そもそもPTAは社会教育法に基づいた社会教育関係団体であり、子どもたちの健やかな成長と教育環境の向上、社会教育及び家庭教育の充実・発展のために活動している団体であり、その存在価値は大きなものであることは多くの人が認めるところである。

どんな状況であっても、PTAは子どものためにあるという根本を再確認し、子どもとともに保護者も教職員も輝くための活動を地道に行っている単位PTAもたくさんあることは大きな希望であり、たいへんすばらしいことである。

子どもと保護者が、保護者同士が、保護者と教職員が、地域との連携を深められるPTAはどうあればよいか、どういう組織を創り上げ、どのような活動を行えば目的が達せられるのか、さらに持続可能な組織となるためにどういう工夫が必要か、そのことを追究していくことが子どもの笑顔と成長につながると確信することからこの研究テーマを設定した。

## 研究の視点

この委員会は構成が地区理事、つまり地区P連の会長が構成員であることから、組織構築や組織運営について「魅力ある活力に満ちたPTA」を大前提として、演繹法的な手法に基づい

て委員会をすすめていく。その際、次のことを視点として議論を展開していく。

○持続可能なPTA組織、PTA活動

○学校・家庭・地域の連携、協働活動

また議論の手助けとして、次のことを話題に取り上げていく。

\*子どもの生活習慣や心を育てる活動

\*子どもが安心してすごせる安全な地域づくり

## 研究の内容

○これまでの成果と課題（☆成果・★課題）

☆各地区の状況を交流することで、今後どのようにPTA活動をすすめていけば会員のためにいいかを討議できた。また、他地区のすぐれた実践について学び合い、環流できた。

☆令和8年度提言推薦に向けて、昨年度実施した単Pむけのアンケートを生かしつつ、委員が所属する地区P連の状況も踏まえながら、提言にふさわしい実践を洗い出せた。

☆会員が自分事として参加できるように組織の見直しや改編をし、会員が負担を感じずに楽しくPTA活動をするためにはどういう工夫が必要か考える機会となった。

★コミュニティ・スクールとPTAとの関わりの成功例の共有。

★地域の人々や地域行事に対するPTAの効果的な関わり方。

★持続可能なPTA活動についてさらなる討議の必要性。

○今年度の方向性と取組

研究の視点に基づいて以下の項目について研究を進めるとともに、令和10年度全道大会への委員会推薦提言についても検討していく。

- 1 令和10年度全道大会推薦提言についての見通し
- 2 持続可能で魅力あるPTAの組織や活動についての討議
- 3 すぐれたPTA活動や日常実践の集積と共有
- 4 地域やコミュニティスクールとPTAの効果的な関係性の模索
- 5 会員が積極的に参加したくなるPTA活動のあり方

## 研究推進日程

日時	会議	内容
6月6日(土)	正副委員長予定者会	・令和8年度活動計画(案)の検討・確定
6月27日(土)	第1回 組織・教育委員会	・令和8年度活動計画の確認 ・研究内容の進め方の討議 ・令和10年度推薦提言についての討議
10月3日(土)	第2回 組織・教育委員会	・研究内容についての交流と討議 (組織づくり・協働体制の確立) ・令和10年度推薦提言の見通し
12月5日(土)	第3回 組織・教育委員会	・今年度の活動の成果と課題の確認 ・次年度の方向性の確認

次の方々が道P連組織・教育委員会の研究を推進しています。 25名 (敬称略)

- 委員長 ③秋山 慎一郎 (副会長：函館市)
- 副委員長 ①漆 崇博 (副会長：石狩管内) ④升田 英伸 (副会長：日高地区)
- ①高橋 梨絵 (副会長：小樽市)
- ①山谷 潤 (副会長：道小校長会～恵庭市立和光小学校長)
- 教師代表 ①杉原 大樹 (北広島市立緑陽中学校長)
- 委員 ①斉藤 大生 (後志) ②金子 孝雄 (上川北部)
- ②菅原 達朗 (旭川市) ②長澤 正憲 (上川南部)
- ②山田 秀和 (宗谷管内) ②佐藤 俊一 (留萌管内)
- ③古川 恵介 (渡島) ③日置 勇馬 (檜山)
- ④荒井 毅 (南空知) ④土井 陽平 (北空知)
- ④鈴木 秀明 (胆振東部) ④澤田 眞 (胆振西部)
- ⑤柴田やよい (オホ東部地区) ⑤佐々木雄一 (オホ中部地区)
- ⑤長谷川 潤 (オホ西部地区) ⑤貴戸 武利 (帯広市)
- ⑤島部 隆太 (十勝管内) ⑤西 俊介 (釧路管内)
- ⑤五十嵐 一隼 (根室地方)

\*①②③④⑤は、北海道PTA連合会のブロックを表しています。

第1回の委員会では、以下のように委員会がすすめられました。

☆自己紹介

☆オリエンテーション

秋山委員長から北海道PTA連合会の構成や役割について説明がありました。

☆活動計画の確定

上記の活動計画が教師代表委員の杉原校長先生から提案があり、承認されました。



#### ☆各地区の活動や実践の交流

- \*市内を8つのブロックにわけて活動している。
- \*PTAについて暗い話題もあるが、Pの方からそれを払拭していきたい。
- \*朝の交通安全指導推進のため、余っている安全旗を地域に配布して運動を広めている。
- \*研究大会への参加率を上げるため、活動内容や意義を伝えるようにしている。
- \*廃品回収の益金で物品を購入できている。
- \*益金の使途を子どもたちが考えるようにしているという話も聞いたことがある。
- \*保護者・地域・先生方の交流や懇親がなくなって、大人が子どもをみるという雰囲気不足。
- \*土曜授業の日の活用を考えるといいのではないか。
- \*PTA活動どころか、郷土愛もなくなってきているのでは。
- \*まずは自分の足元である単Pの活動の充実からはじめたい。
- \*一次産業従事者が多い地域のため、活動時期の設定が難しい。
- \*保護者のモラルに学校が苦しんでいるようなのでそのための研修を企画したい。
- \*だれでも参加できる行事の企画をしたい。
- \*役員交代期に伝統にとらわれない活動をしていく。
- \*PTA活動で楽しませてもらった世代が保護者になっているので、今の子どもがそれをしらないとなると不幸なこと。
- \*コロナ禍前にできていたことをできるところから復活させていきたい。
- \*役員が企画を提案しても学校が後ろ向きだと影響が大きい。
- \*PTAとCSが連携した行事を企画した。
- \*行事をするにしても行政や学校との調整が重要。
- \*先生方の参加を増やすことに苦労している。
- \*保護者同士の「よこのつながり」を、PTA活動を通して深めていける。
- \*楽しそうな企画を複数立ち上げてPTAへのハードルをさげるようにしている。
- \*朗読劇で親と子が命の大切さを共有できた事例がある。



次の委員会（第2回）は、10月3日（土）開催予定です。

北海道PTA連合会事務局

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目STV時計台通ビル6階  
TEL (011)251-6937 FAX (011)210-0929  
Eメールアドレス [info@hokkaido-pta.jp](mailto:info@hokkaido-pta.jp)